



本間 正明

東京都府中市

1962.3 卒業。大手電気会社に勤務しながら、夜間大学理工学部で学ぶ。3年後、将来構想の転換により、機械工学部から建築学部に転科。仕事も1年間に2社のハシゴの後、大手建設会社の技術研究所助手に変更。

多面にわたる技術研究への地道な取り組み姿勢を学び、1978年、都立工業高校の教諭となる。1校目17年間、2校目、延長5年を含め24年間で数々の思い出を留め卒業。卒業生が、それぞれの職場で、厳しい経済状況下に挑戦して、元気に活躍されている報が何より嬉しい齢となる。

現在、二つの地域自治体での役員と、障がい者自立支援事業法人の監事に名を連ね、非力ながらお手伝いをさせてもらっている。

今年(2010)5月、第9回を迎える母校の同期会を、60名の出席で開催。高校時代の友と会うと、瞬時にニキビ面の自分に。走馬燈のように回る数々の思い出に全身浸る。それぞれの当時と、その後の人生の苦楽を満面の笑顔で語り合う。

青春万歳！ これからも、生涯青春で！